

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年5月21日

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…「葉っぱで何ができるかな！」
～葉っぱにはいろいろな形があるんだよ～

<テーマ設定理由>

・4月より、桜の木の観察（花が咲いて、葉っぱに変化する様子）から始まり、「他の葉っぱも見てみたい」と近隣の公園に出かけてと葉っぱに触れる機会を持っていた。また、遠足に出かけ「大きい」「小さい」「長い」「ギザギザ」などの葉っぱ探しクイズをしたり、桑の実、ヘビイチゴの実拾いを楽しんでいた。それらの経験から「何かつくってみたい」との声が上がり活動を始めた。

2 活動スケジュール

・前日に遠足に出かけて、様々な葉っぱや実を見つけて楽しんだ。
・見つけた葉っぱを使い「構成遊び」「造形遊び」をして楽しむ。
・好きな葉っぱを選んで実際に触れながら遊びにつなげていく。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・葉っぱは押し葉にして保存しておく。
・トレイ、画用紙を準備する。
・子どもの気づきから使用できるように、固形絵の具、ボンド、カップ、木製スプーン、鉛筆、空き箱などを用意する。
・3つのグループに分けて（4人ずつ）進める。

4.探究活動の実践

<活動内容>

・トレイに画用紙を置いて、それぞれ好きな葉っぱをトレイにとって進められるようにする。
・葉っぱの形、色、感触などを実際に触れながら想像を膨らませ、作りたい物に発展させていく。
・葉っぱを画用紙に並べたり、重ねたり、丸めたり、ハサミで切ったりと自分の好きなように形を作る。
・固形絵の具を使い、葉っぱに色をつける。葉っぱでスタンプをする。
・桑の実を使い、つぶしたり、つぶした果汁を筆にとり、画用紙で描く。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・フキの葉をカウボーイのロープのように回してみる。
・フキの葉をピザ生地に見立てて、葉っぱをちぎって具をのせて楽しんでいた。
・「色をつけてみたい」と筆で葉っぱや画用紙に色をつけて楽しんでいた。
・フキの葉を持って「傘みたい」とさしてみる。頭の上ののせて「トトロ」と微笑む。
・その後はハサミで切って並べてみる。蛇に見立てたり、葉っぱの上に目や口、眉毛を茎の部分を使い表現していた。
・「これは、こじろうだよ」と名前をつけて楽しんでいた。
・葉っぱを組み合わせて「これはペンギン」と伝える。
・葉っぱの形を見ながら組み合わせて「くまだよ」と絵の具で目を描いて楽しんでいた。
・桑の実を手にとって「つぶしてみたい」と伝える。つぶしながら「においがする、ぶどうみたいなおいがする」と保育士にカップを近づける。
・「ジャムみたい、おいしそう」と伝える。画用紙にかけたり、筆と桑の実の汁でお絵描きを楽しんでいた。

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・進級してから桜の変化を見に出かけたり、春の草花に目を向けて「先生、この葉っぱ面白い」と新しい発見を楽しんできた。
・見つけた草花を虫眼鏡で眺めたり、絵を描いてみたり、電子黒板でじっくり観察する機会を作ってきた。
・今回の活動では遠足で見つけた自分のお気に入りの葉っぱや実を使用したので、実際にどんな場所で、そんな風を生えていたかも想像することができた。そこから「茎を立たせてみたい、どうやったら立つかな」と考えたり、遠足でつぶれた実を見て「つぶしてみよう」と実をつぶして色を感じてみたりと発見がたくさんあった。
・子ども達の発想を自分なりにも考えて絵の具やカップなどを用意していたが、以外にシンプルに葉っぱその物をどうしていくかを子ども達に問いかけて色々考える時間をもっと取ってもよかったと感じた。
・葉っぱによって、絵の具がはじく様子や形に着目して顔を描いたり、ちぎって何かに見立てるなど子ども達からの感じる思いもあり、次回は、大きな模造紙で友達と一緒に「何ができるかな」と楽しんでいけたらと思う。